

第4回はにしな寮在り方検討委員会会議議事録【概要】

日 時 令和5年11月10日（金） 14:00～14:45
場 所 長野市資源再生センター事務所棟2階 大会議室
出席者 委員（総数13人中12人出席）
事務局（6人、はにしな寮所長含む。）

1 開会

- ・宮下委員欠席の連絡

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 養護老人ホーム・特別養護老人ホーム松寿荘の概容等について

- ・事務局より資料1に基づき説明
- ・質疑、答弁なし

(2) 養護老人ホームはにしな寮の提言に当たっての施設の在り方の方向性について

- ・事務局より資料2に基づき説明
- ・質疑、答弁なし

(3) 養護老人ホームはにしな寮の在り方に関する提言（素案）について

- ・事務局より資料3に基づき説明

【質疑・答弁】

○委員

はにしな寮を養護松寿荘と統合した場合、養護の建物部分を解体し特養松寿荘にするという話があったが、事業所の規模はどの程度のものを想定しているのか。

○事務局

ベッド数は原則今のままと考えるが、高齢者福祉計画の見直しもあるので具体的な内容は先になる。

○委員

養護施設を統合したとして、施設名は松寿荘の名前を残すか、新しい名前になるか。

○事務局

別途検討になるが、広く周知いただくために名称を公募することは考えている。

○委員

「松寿荘に統合」と表現すると、松寿荘の名前を残しながら合併すると捉えられかねない。「松寿荘と統合」と表現すれば、名称や場所は未定だがとにかく合併するのだと伝わる。

○事務局

検討経過及び提言の理由の該当箇所を修正する。

○委員

提言内容も該当箇所は同様に修正、ということでよいか。また、提言内容に床数を明記すると、この数の施設を建設すべきと捉えられかねない。

○事務局

指摘いただいた箇所は修正し、次回委員会前に送付するので御確認いただきたい。

○委員

提言内容から床数を削除した場合、規模はどのように考えるのか。統合し一つの施設を造るという提言でよいか。

○事務局

統合後の160床とした部分は除くが、現状の床数である60床と100床という部分は残し、規模感は伝わるようにしたいと考えている。

○委員

規模感について、はにしな寮と養護松寿荘の機能を統合した結果として、広域的に必要な床数を把握した上でとのことであり、建設にかかる十数年の間でニーズが増えるか減るか、経過を見ながら検討するというものでよいか。

○事務局

その通りだ。関係市町村の養護担当者にお集まりいただき、措置すべき人数など御意見を頂戴した上で決定していくものと考えている。

○委員

松寿荘は養護と特養が併設しているが、職員をそれぞれで融通することはないか。

○事務局

所長、副所長は兼務だが、他職員は人員配置基準があるので、それぞれを満たした状態で対応している。

○委員

全国的に6割の特養が赤字だと言われており、特養単独になった松寿荘を本当に移管できるのかという懸念があるが、計画的なものは示した方がよいか。

○事務局

まだ検討に至っておらず、別途検討したい

○委員

松寿荘の食堂の職員は養護と特養兼務か。

○事務局

食堂は養護と特養で共有しており、同じ厨房の職員が対応している。

○委員

分離すれば別々になるのか。

○事務局

そういうことになる。

○委員

提言書の名簿は委員長、副委員長が頭にあったほうがいいのでは。

○事務局

そのようにさせていただく。

(4) その他

- ・第5回委員会の開催について決定する。

日時 第5回委員会 12月18日(月)午後2時から

会場 長野市資源再生センター2階 大会議室

4 閉会